

2013年3月期第1四半期決算 プレゼンテーション資料

2012年7月

大阪ガス株式会社

I. 13.3期第1四半期実績

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/company/ir/>

「見通し」に関する注意事項 : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記 : 全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記 : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

13.3期第1四半期決算のポイント

■ 概況

売上高	LNG価格の上昇に伴う、ガス販売価格の上昇や、電力事業売上の増加、LNG販売の増加等により、 前年比14.6%増収の3,285億円。
営業利益	時期ずれ差損の縮小により、ガス粗利益が増加したほか、電力事業利益が増加したこと等から、 前年比69.5%増益の331億円。 時期ずれ差損が91億円発生 (前年同期時期ずれ差損167億円)。
■ ガス販売量	
家庭用	水温が前年より高めに推移したこと等から 前年比2.7%減少の577百万m³。
商・公・医療用	お客さま先での省エネルギー推進等により 前年比4.1%減少の315百万m³。
工業用	新規需要開発等により、 前年比1.0%増加の1,046百万m³。
■ その他	
新規事業拡大投資	カナダ・太陽光発電事業への参画、国内での大規模太陽光発電所の建設、米国シェールガス・オイル開発プロジェクトへの参画を意思決定。 第1四半期の投資実行額は計327億円。

13.3期第1四半期ガス販売実績

45MJ/m ³		A. 13.3期1Q	B. 12.3期1Q	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,049	7,015	+33	+0.5%
	新設工事件数(千件)	17	16	+1	+9.3%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	33.0	34.0	-1.0	-3.0%
	家庭用	577	593	-16	-2.7%
	商・公・医療用	315	328	-14	-4.1%
	工業用	1,046	1,035	+10	+1.0%
	業務用計	1,360	1,364	-3	-0.3%
	他ガス事業者向け	111	118	-7	-5.8%
	(うち大口供給)	(1,176)	(1,179)	(-3)	(-0.2%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	2,048	2,074	-26	-1.3%
連結ガス販売量	2,058	2,084	-26	-1.3%	

13.3期第1四半期実績 |

連結：億円、()内は連単倍率

	A. 13.3期1Q	B. 12.3期1Q	A-B	A-B/B(%)	備考
売上高	(1.22) 3,285	(1.25) 2,866	+418	+14.6%	ガス販売単価の上昇、 附帯事業売上の増加等
営業利益	(1.33) 331	(1.76) 195	+135	+69.5%	ガス粗利益の増加、 電力事業利益の増加等
経常利益	(1.21) 363	(1.40) 206	+156	+75.7%	受取配当金の増加、 持分法投資利益の増加
四半期純利益	(1.11) 236	(1.18) 124	+111	+89.7%	

		A. 13.3期1Q	B. 12.3期1Q	A-B
連結ガス販売量	百万m ³	2,058	2,084	-26
時期ずれ差損益	億円	-91	-167	+75
原油価格	\$/bbl	122.6	115.0	+7.6
為替レート	円/\$	80.2	81.7	-1.5

13.3期1Q原油価格実績は、6月速報値までの平均。

13.3期第1四半期実績 II

連結:億円	A. 13.3期 1Q末	12.3期 1Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	14,631	14,178	14,757	-126	
自己資本	7,057	6,716	6,845	+211	
有利子負債	5,439	5,508	5,413	+26	
在籍人員	19,926	19,849	19,818	+108	
自己資本比率	48.2%	46.4%	46.4%	+1.8	
D/E比率	0.77	0.82	0.79	-0.02	

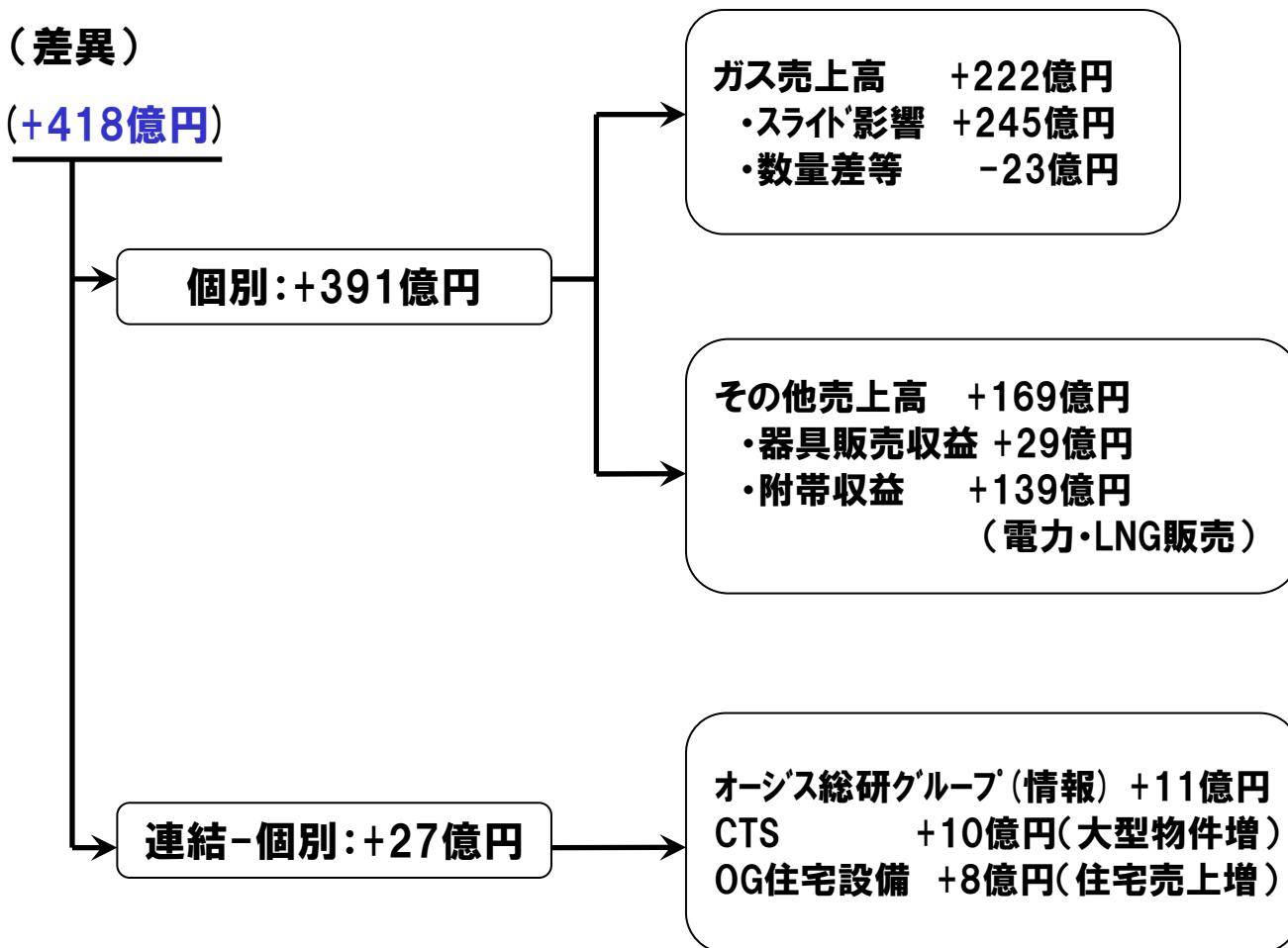
	A. 13.3期1Q	B. 12.3期1Q	A-B	備考
設備投資	375	147	+227	豪州イクシスLNGプロジェクト、 米国シェールガス・オイル開発 プロジェクト等への投資
減価償却費	202	230	-28	特別償却が前年で終了
フリーキャッシュフロー	24	-211	+236	利益の増加に伴うキャッシュフローの増加

II. 参考資料 (1)

13.3期第1四半期の売上高差異(対12.3期)

12.3期1Q → 13.3期1Q (差異)

2,866億円 3,285億円 (+418億円)



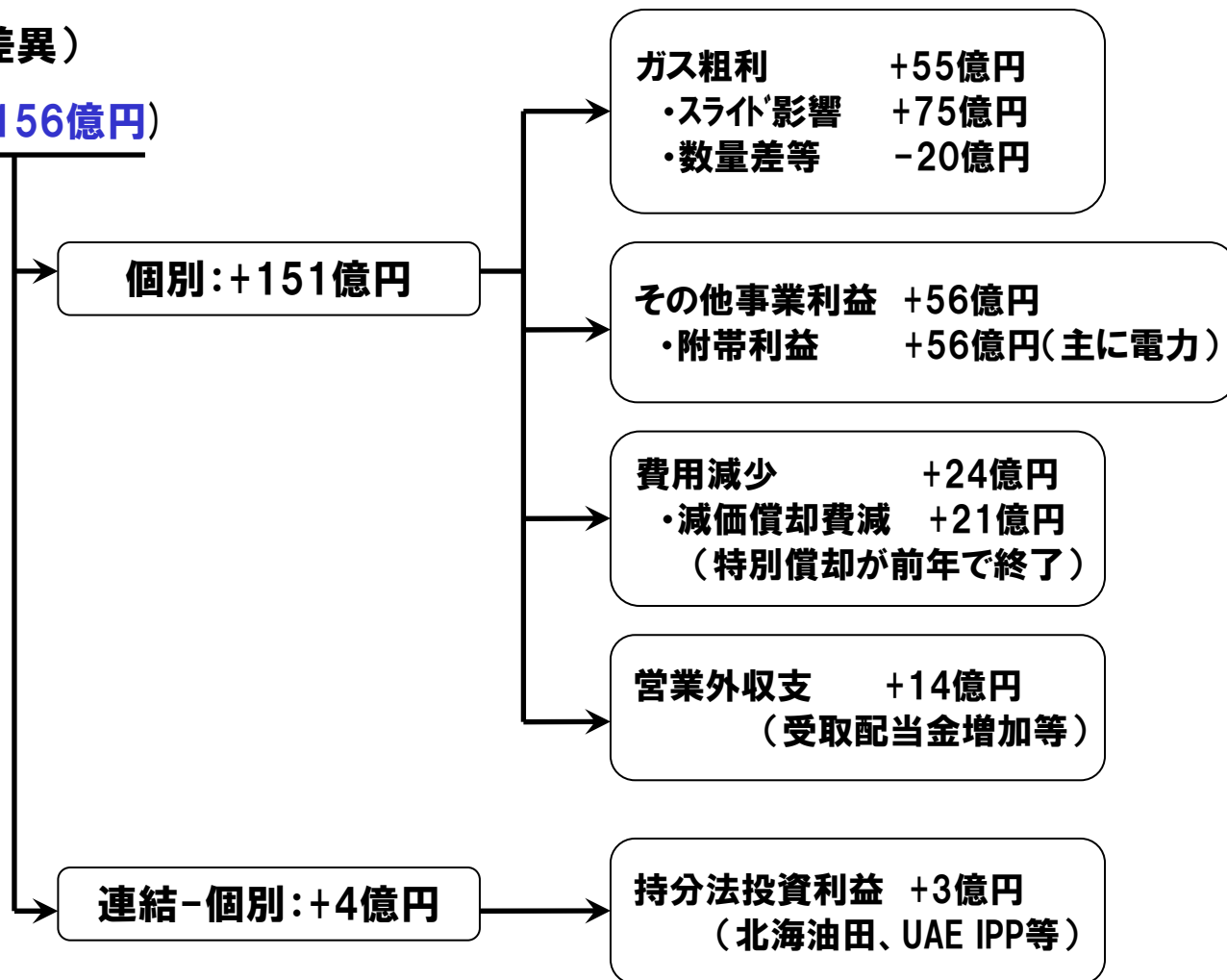
CTS・・・クリエイティブテクノソリューション
OG・・・大阪ガス

13.3期第1四半期の経常利益差異(対12.3期)

12.3期1Q → 13.3期1Q (差異)

206億円

363億円 (+156億円)



+-の符号は利益への影響を表す。

13.3期第1四半期セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	13.3期 1Q	12.3期 1Q	13.3期 1Q	12.3期 1Q	
ガス	2,464	2,190	182	100	売上:ガス販売単価増 利益:時期ずれ差損の縮小
LPG・電力・ その他エネルギー	517	377	97	48	売上:電力事業売上・LNG販売増 利益:電力事業利益増
海外エネルギー	26	24	23	16	持分法投資利益増 (北海油田、UAE IPP等)
環境・ 非エネルギー	412	413	39	38	
消去又は全社	-136	-140	6	5	
連結	3,285	2,866	349	210	

(*)セグメント利益＝営業利益＋持分法投資利益

カナダ・オンタリオ州太陽光発電事業への参画

- 2012年6月、カナダ・オンタリオ州での大規模太陽光発電(メガソーラー)事業を、三菱商事株式会社・シャープ株式会社と共同で推進していくことで合意。
- 発電容量等:9ヶ所 計10万kW
- 運転開始 :2012年末~2013年末にかけて順次運転開始予定
- 出資比率 :大阪ガス44.95%、三菱商事44.95%、シャープ10.1%
- 電力販売先:オンタリオ州電力公社(20年間、固定価格で販売)



完成予想図

大規模太陽光発電所の建設

- 2012年6月、国内3ヶ所で大規模太陽光発電所(メガソーラー)を建設することを決定。

各発電所の概要

(1) 西島太陽光発電所

所在地 : 大阪市此花区西島

発電容量: 約1,800kW

(2) 勝央太陽光発電所

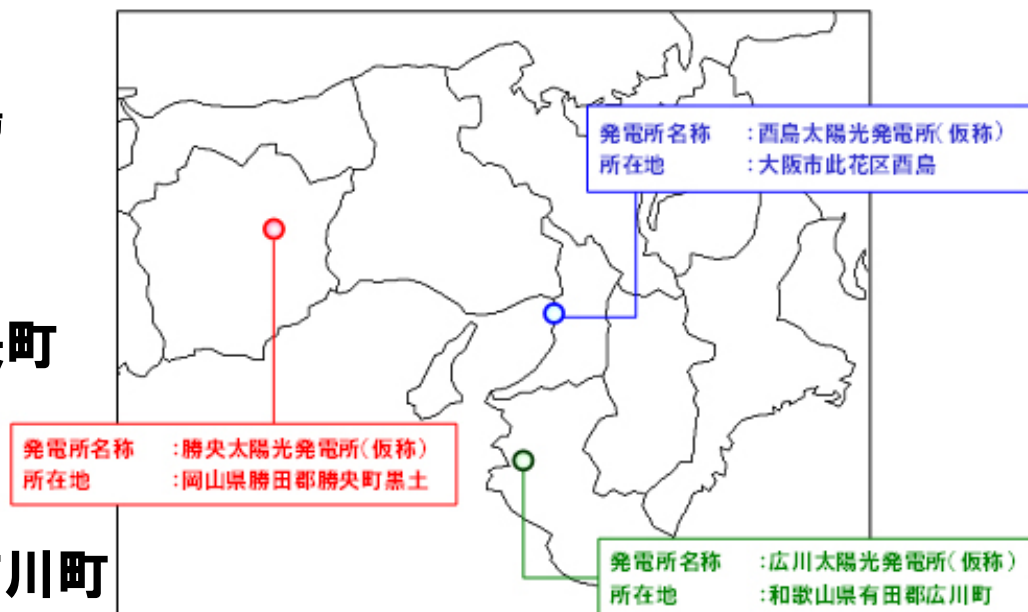
所在地 : 岡山県勝田郡勝央町

発電容量: 約900kW

(3) 広川太陽光発電所

所在地 : 和歌山県有田郡広川町

発電容量: 約800kW



米国テキサス州シェールガス・オイル開発プロジェクトへの参画

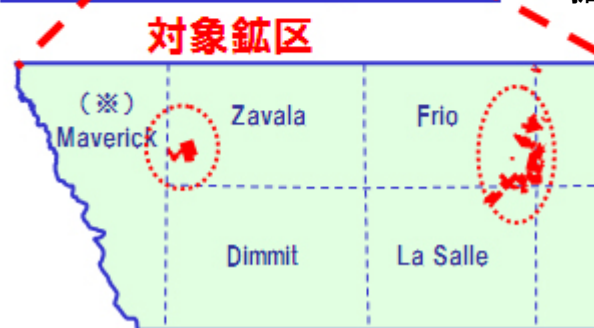
- 2012年6月、米国テキサス州ピアソール・シェールガス・オイル開発プロジェクトへの参画を決定。

プロジェクト概要

- 所在地 : 米国テキサス州南部
イーグルフォード地区
- 参加者 : Cabot社65%(オペレーター)
大阪ガス35%
- 算出資源: 天然ガス
軽質原油(コンデンセート)
NGL (Natural Gas Liquids)
- 販売 : 米国市場にて販売



掘削工事現場



(※)テキサス州 郡の名称

米国フリーポート社との天然ガス液化加工契約の締結

- 2012年7月、中部電力株式会社とともに、米国フリーポート社の子会社との間で、天然ガス液化加工契約を締結。
- 契約締結により、大阪ガスと中部電力は、フリーポートLNG基地における年間約440万トンの天然ガス液化能力を確保。
- シェールガスをはじめとした米国産天然ガスを自ら手当てし、液化を経て、LNGとして調達することが可能となる。

フリーポートLNGプロジェクト

- 所在地 : 米国テキサス州フリーポート市
- 商業運転開始: 2017年(予定)
- 液化設備能力: 約440万トン/年×3系列
- 輸出許可 : 米国との自由貿易協定
未締結国向け輸出許可を申請中



フリーポートLNG基地

III. 参考資料 (2)－13.3期見通し

3月発表時の見通しから、変更ありません。

13.3期ガス販売見通し

45MJ/m ³		A. 13.3期 見通し	B. 12.3期 実績	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,078	7,045	+32	+0.5%
	新設工事件数(千件)	81	81	-0	-0.6%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	32.0	32.6	-0.6	-1.9%
	家庭用	2,232	2,271	-39	-1.7%
	商・公・医療用	1,512	1,575	-62	-4.0%
	工業用	4,404	4,355	+49	+1.1%
	業務用計	5,916	5,930	-14	-0.2%
	他ガス事業者向け	474	480	-7	-1.4%
	(うち大口供給)	(5,083)	(5,062)	(+21)	(+0.4%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	8,621	8,681	-60	-0.7%
連結ガス販売量	8,652	8,711	-59	-0.7%	

13.3期見通し I

()内は連単倍率

連結:億円	A. 13.3期 見通し	B. 12.3期 実績	A-B	A-B/B (%)
売上高	(1.25) 13,630	(1.25) 12,947	+682	+5.3%
営業利益	(1.57) 900	(1.96) 772	+127	+16.5%
経常利益	(1.43) 900	(1.84) 756	+143	+18.9%
当期純利益	(1.31) 570	(1.76) 452	+117	+26.1%
SVA	238	119	+118	+99.3%
連結ガス販売量	百万m ³ 8,652	8,711	-59	
時期ずれ差損益	億円 -31	-307	+276	
為替レート	円/\$ 80	79.1	+0.9	
原油価格	\$/bbl 115	114.2	+0.8	

SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

13.3期見通し II

連結:億円	A. 13.3末見通し	B. 12.3末実績	A-B
総資産	15,715	14,757	+957
自己資本	7,213	6,845	+367
有利子負債	5,840	5,413	+426
在籍人員	19,992	19,818	+174
自己資本比率	45.9%	46.4%	-0.5
D/E比率	0.80	0.79	+0.01
	A. 13.3期見通し	B. 12.3期実績	A-B
設備投資	1,011	871	+139
減価償却費	848	936	-87
フリーキャッシュフロー	791	790	+0
ROA	3.7%	3.1%	+0.6
ROE	8.1%	6.7%	+1.4
EPS (円/株)	27.4	21.7	+5.6
BPS (円/株)	346.2	328.8	+17.4

FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)ー通常の設備投資による支出。Design Your Energy 夢ある明日を

13.3期セグメント別見通し

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	13.3期 見通し	12.3期 実績	13.3期 見通し	12.3期 実績	
ガス	10,160	9,765	375	209	売上:ガス販売単価増 利益:時期ずれ差損の縮小
LPG・電力・ その他エネルギー	2,285	1,980	335	324	売上:LNG販売増、LPG販売増等 利益:LNG販売利益増等
海外エネルギー	110	111	55	86	持分法投資利益減 (北海油田、スペインIPP等)
環境・ 非エネルギー	1,700	1,845	155	185	売上:不動産売上減等 利益:材料事業利益減等
消去又は全社	-625	-755	15	22	
連結	13,630	12,947	935	829	

(*)セグメント利益＝営業利益＋持分法投資利益

年度見通しに対するリスク要因

■ 気温・水温

- 気・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。

■ 原油価格

- LNG価格は原油価格にリンクするために、原油価格1\$/bblの変化に対して、今年度の粗利益は10億円変動する可能性がある。

■ 為替レート

- LNG価格は米ドル・円の為替レートにリンクするために、為替レート1円/\$の変化に対して、今年度の粗利益は12億円変動する可能性がある。

■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

■ 金利

- 金利1%の変動に対して、今年度の連結営業外費用が年間6億円変動する可能性がある。